



平成 28 年 6 月 23 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区神田錦町一丁目 2 番地 1
イオンリート投資法人
代表者名 執 行 役 員 塩 崎 康 男
(コード：3292)

資産運用会社名
イオン・リートマネジメント株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 塩 崎 康 男
問合せ先 専務取締役兼財務企画部長 塚 原 啓 仁
(TEL. 03-5283-6360)

「平成 28 年熊本地震」の影響に関するお知らせ（第 4 報）並びに
平成 28 年 7 月期及び平成 29 年 1 月期の運用状況の予想及び分配予想の修正
に関するお知らせ

熊本県熊本地方を震源とする地震により被災された皆さまには、謹んでお見舞いを申し上げます。

平成 28 年熊本地震（以下「本地震」といいます。）による、イオンリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の保有物件等に対する影響について、6 月 23 日（木）午前 8 時時点で判明している事実及び今後の見通し等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 28 年 3 月 15 日付「平成 28 年 1 月期 決算短信 (REIT)」にて公表した平成 28 年 7 月期の運用状況の予想における当期純利益及び 1 口当たり分配金（利益超過分配金は含まない）並びに平成 29 年 1 月期の運用状況の予想における 1 口当たり分配金（利益超過分配金は含まない）について、現時点で算定を行うことが困難なため、下記の通り未定とさせていただきます。

なお、今後の見通しにつきましては、本日時点における本投資法人の想定であり、以下の記載の内容通りとならない可能性がありますことにつきご注意ください。

記

1. 店舗の状況

震源に近いイオンモール熊本（以下「本物件」といいます。）において、本地震による大きな被害が発生しました。本投資法人が資産の運用を委託する資産運用会社であるイオン・リートマネジメント株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）は、本地震発生後、本物件の建築時の施工者である株式会社竹中工務店（以下「本物件施工者」といいます。）に対し、本物件の被害状況についての詳細確認及び復旧対応等に関する調査を依頼しており、本日現在、本物件施工者による確認・調査作業は継続中です。

また、本資産運用会社においても本地震発生直後から現地調査等を行うとともに、本物件のマスターリース会社であり、本投資法人及び本資産運用会社に対する SC マネジメント提供会社であるイオンモール株式会社のサポートを受けながら、本物件の復旧に向けて取り組んでいます。

現時点において、本物件施工者から報告を受けている建物の被害状況並びに店舗の現状及び営業再開の見通し等は下表の通りです。

核店舗であるイオン熊本店につきましては、1 階は既に営業を再開しており、平成 28 年 7 月 20 日には、イオン熊本店 2 階及び東モールのオープンを予定しております。イオン熊本店については、九州初の「イオンスタイル」へとリニューアルを実施いたします。

また、本物件は開業後 10 年が経過していることもあり、今回の復旧において資産価値向上と、より魅力的で安全な最新鋭のモールへと再生するべく、スポンサーグループであるイオンモール株式会社、イオン九州株式会社と共に、西モール・サブ核ゾーンについては、一部建替えを含めた大幅なリニューアルを検討していくことで合意しており、収益向上を図ってまいります。

本投資法人としては、本物件全体の早期の営業再開に向け、復旧工事内容の確定や工事の完了に継続して取り組んでまいります。

	サブ核ゾーン	西モール	東モール	核店舗 (イオン熊本店)
被害状況概略	液状化による基礎沈下 天井落下 間仕切壁倒壊 床タイル破損 等	液状化による基礎沈下 壁・天井落下 床タイル破損 設備機器落下 等	天井落下 床タイル破損 等	天井落下 設備機器落下 外壁破損 等
現状	被害状況の詳細調査中	被害状況の詳細調査中	平成 28 年 7 月 20 日営業再開に向け復旧工事中	1 階：平成 28 年 4 月 20 日営業再開済 2 階：平成 28 年 7 月 20 日営業再開に向け復旧工事中

イオンモール熊本概略図



営業状況の詳細については、イオン九州株式会社及びイオンモール熊本の Web サイト等をご参照ください。

イオン九州株式会社：<http://aeon-kyushu.info/>

イオンモール熊本：<http://kumamoto-aeonmall.com/>

2. 業績の見通し

上記 1. に記載の通り、本物件施工者による確認・調査作業は継続しており、本物件の復旧費用の詳細についても調査中です。本物件の復旧に際し、今後多額の修繕費及び資本的支出を計上する可能性が高く、平成 28 年 3 月 15 日付「平成 28 年 1 月期 決算短信 (REIT)」にて公表している平成 28 年 7 月期の本投資法人の運用状況の予想について、当期純損失となる修正 (大幅な下方修正) を行う可能性があり、1 口当たり分配金についても大幅な下方修正を行う可能性があることが判明しました。

また、平成 29 年 1 月期についても、前期繰越損失の発生額によっては、1 口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない) について大幅な下方修正を行う可能性があることが判明しました。

しかしながら、現時点では、その影響額の正確な算定を行うことが困難であるため、下記の通り、①平成 28 年 7 月期の予想当期純利益及び予想 1 口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない) 並びに②平成 29 年 1 月期の予想 1 口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない) を未定とさせていただきます。なお、平成 28 年 7 月期の損失については、極力、翌期に繰越さないように様々な検討を行います。また、平成 29 年 1 月期の予想 1 口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない) は未定といたしますが、利益分配は実施できる見込みです。

本投資法人としては、引き続き、運用状況に与える影響及び当該物件の復旧の見通し等について調査・検討し、詳細が判明次第、改めてご報告する予定です。また、本地震による損害の影響、特に分配金へ与える影響の大きさを鑑み、利益超過分配を含め、様々な検討を並行して進めてまいります。

平成 28 年 7 月期の運用状況の予想 (平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 口当たり 分配金 (利益超過分配金 は含まない)	1 口当たり 利益超過分配金
前回発表予想 (A)	11,190 百万円	4,185 百万円	3,542 百万円	3,534 百万円	2,695 円	— 円
今回発表予想 (B)	11,190 百万円	4,185 百万円	3,542 百万円	未定	未定	未定
増減額 (B - A)	— 百万円	— 百万円	— 百万円	— 百万円	— 円	— 円
増減率	— %	— %	— %	— %	— %	— %

(参考) 平成 28 年 7 月期：予想期末発行済投資口数 1,309,467 口

平成 29 年 1 月期の運用状況の予想 (平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 口当たり 分配金 (利益超過分配金 は含まない)	1 口当たり 利益超過分配金
前回発表予想 (A)	11,708 百万円	4,477 百万円	3,803 百万円	3,794 百万円	2,895 円	— 円
今回発表予想 (B)	11,708 百万円	4,477 百万円	3,803 百万円	3,794 百万円	未定	未定
増減額 (B - A)	— 百万円	— 百万円	— 百万円	— 百万円	— 円	— 円
増減率	— %	— %	— %	— %	— %	— %

(参考) 平成 29 年 1 月期：予想期末発行済投資口数 1,309,467 口



3. 次回の公表予定

7月中旬を予定しています。

以 上

- * 本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
- * 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.aeon-jreit.co.jp/>